

留学生生活を快適に送るために

— 新入学留学生ガイダンス資料 —

—新入学留学生指南—

**Guidance
for New International Students**

2021年4月

徳島大学高等教育研究センター

徳島大学高等教育研究中心

Research Center for Higher Education

Tokushima University

目次

目录

Contents

- ◆ 日本語- - - - -P1～P20
- ◆ 中文- - - - -P21～P39
- ◆ English- - - - P40～P65

日本語 目次

I 大学生活について – – –P1

1. 授業料免除申請について
2. 各種奨学金について（私費留学生対象）
3. 留年について
4. 休学について

II 日本での生活について① – – –P2 ~ P9

5. 渡日後すぐにあること
6. 国民健康保険の加入について
7. 自動車等の運転について
8. 国民年金について
9. 法令遵守について
10. マイナンバー制度について

III 住居について – – –P9 ~ P10

11. 民間のアパートについて
12. 留学生住宅総合補償制度への加入について
13. 留学生宿舎について

IV 健康診断等について – – –P11

14. 定期健康診断の実施について
15. キャンパスライフ健康支援センターの利用について

V 各種申請について – – –P12

16. 各種証明書の発行について
17. 各種届け出について

18. 渡日一時金について

19. 貸付金制度について

VI ビザ関係について – – –P13 ~ P16

20. 在留期間の更新について

21. 在留カードについて

22. 一時帰省等について

23. アルバイト（資格外活動）について

24. 入国管理局への届出について

VII 日本での生活について② – – –P16 ~ P17

25. 日本国内での引っ越しについて

26. 留学生と地域住民等との交流会等について

27. 宗教等の勧誘について

VIII 帰国前の手続について – – –P18

28. 帰国前の手続

IX まとめ – – –P19 ~ P20

29. インターナショナルオフィス・国際課について

I 大学生活について

1. 授業料免除申請について

- (1) 対象 私費留学生（政府派遣及び研究生・科目等履修生、交換留学生は除く）
- (2) 内容 その学期の授業料の全額又は半額が免除される。
- (3) 方法 申請者の中から選考（申請者全員が免除になるわけではない）
- (4) 提出場所

常三島地区留学生；学務部学生支援課

蔵本地区留学生；医学部学務課学生係

※申請書類は、それぞれに提出期限が定められていますので、必ずその期限内に提出すること。（申請受付は、前期分が3月中旬頃、後期分は9月中旬頃）



2. 各種奨学金について（私費留学生対象）

各種奨学金の募集があればその都度、インターナショナルオフィスホームページ、及び掲示等により通知します。

応募要項に該当する希望者は、必要書類を整えて申請すること。

※本学の留学生が受給した主な奨学金は別紙のとおり。

3. 留年について

留年を2回以上すると、ビザ更新ができない（＝帰国しなければならない。特に学部生）ことがあるので注意すること。

4. 休学について

3ヶ月以上休学する場合に、病気などの正当な理由がない場合は、帰国することになる。

みなさんが取得している「留学」ビザは、本来留学のための資金が十分にあることを前提としたものです。よって、「**経済的理由**」は**正当な理由にはなりません**。正当な理由（病気など）なく、3ヶ月以上、ビザに規定された活動を行わない場合（休学する場合）は、在留資格を取り消されることもあります。また、休学中は資格外活動（アルバイト）は、認められません。



Ⅱ 日本での生活について①

5. 渡日後すぐのこと

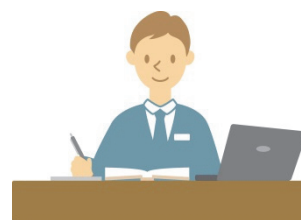
- (1) **転入届の提出**・・・渡日後**14日以内**に届け出ること。
 - ①届出先 → 在住の市役所または役場
 - ②必要な物 → 在留カード、パスポート
(後日、在留カードが交付される方は、パスポートのみ)
- (2) **国民健康保険への加入**・・・詳細は「6. 国民健康保険の加入について」。
- (3) 銀行口座の開設・・・日本で口座を作りたい方のみ。

必要な物

- ①ゆうちょ銀行の場合・・・パスポート、在留カード、学生証
- ②それ以外の銀行の場合・・・パスポート、在留カード、印鑑

※日本国内の大学等から、本学に入学された方

- (1) **転入届の提出**・・・引っ越し後**14日以内**に届け出ること。
 - ①届出先 → 引っ越し後の市役所または役場
 - ②必要な物 → 転出証明書（前住所の市町村で発行された書類）、在留カード
- (2) **国民健康保険の加入**
前住所の市町村で加入していた保険は使えません。新たに加入する必要があります。
- (3) **入国管理局への届出**
入学後**14日以内**に入国管理局へ「活動機関に関する届出」などの届出をする必要があります。
詳細は「2.4. 入国管理局の届出について」を参照してください。



6. 国民健康保険の加入について

3ヶ月以上日本に滞在する外国人は、国民健康保険に加入することが義務づけられています。必ず加入してください。

- ①申込先 → 在住の市役所または役場
- ②必要な物 → パスポート、在留カード

国民健康保険とは？

保険料を支払い、加入すると、病気やけがをした場合、治療費の70%を国民健康保険が負担する。

7. 自動車等の運転について

お酒を飲んだ場合は、絶対に運転をしないこと。飲酒運転をした人以外にも、車を貸した人や飲酒運転をした人の車に同乗した人も法律により罰せられます。



罰則

運転者が酒酔い運転をした場合	運転者	5年以下の懲役又は100万円以下の罰金
	車両提供者（車を貸した人）	
	同乗者、酒類提供者	3年以下の懲役又は50万円以下の罰金

日本の交通法規は大変厳しく、違反をすれば罰金を科されます。

また、罰金のみならず、学業に影響があるばかりか、大学から処分されることもあります。

交通法規をしっかりと覚え、守ること。

(1) 車・バイクについて

① 運転免許証

日本で自動車、バイク等を運転する場合には、日本の運転免許証または国際運転免許証が必要です。

【日本の運転免許証を取得する場合】

(a) 自動車学校に入校・卒業後、自動車免許試験を受ける。

自動車学校の費用が平均 25～35 万円かかります。高度な日本語能力が必要です。

自動車免許試験は、日本語の他、英語、中国語でも受験が可能です。

(b) 母国で取得した運転免許証を日本の運転免許証に切り替える。

運転免許センターに必要書類を持って行ってください。

【要件】

母国で免許取得後、その国で3ヶ月以上滞在している場合のみ有効です。

・母国の免許証の有効期限が切れていないこと。

・学科試験、技能試験等に合格すること。

・問い合わせ先：運転免許センター（板野郡松茂町、電話：088-699-0110）

【国際運転免許証を使う場合】

ジュネーブ条約に加盟している国が発行した「国際運転免許証」を持っている場合は、上陸した日から1年間（又は免許証の有効期間のいずれか短い期間のみ）使用が可能です。

※発行された国によっては、日本で使えないので注意してください！（確認してください。）

例）モンゴル・ベトナムで発行された国際免許証は日本では使えません。

取得した国で3ヶ月以上滞在している場合のみ有効です。

（注意）

※日本に1年以上いる予定の方は、日本の運転免許証を取得すること。

免許証を持たないで運転した者は重く罰せられ、万一事故を起こした場合は罪がさらに重くなります。免許証を持たないで運転することは、絶対にしないこと。



② 保険について

事故を起こした時のために、必ず任意保険に入ること！

自動車保険には、自賠責保険と任意保険の2つがあります。

【自賠責保険（強制保険）】

自動車・バイクの所有者と運転者が必ず入らなければいけない保険です。

（a）保障される範囲

交通事故で他人を死亡させたり、ケガをさせた場合のみ適用されます。

（b）保障されない範囲

- ・ 運転者（自分）のケガ
- ・ 車の修理代
- ・ 単独の事故（例：車を電柱にぶつけてケガをした）
- ・ 物の損害（例：電柱を壊した時の修理代）

※カバーされない範囲は、自己負担となります。



【任意保険】

自賠責保険を補う自動車保険です。強制ではありませんが、事故を起こしたときにかかる金額は高額です。他人をケガさせたり、死亡させたりした以外にも、他人の物（など）、自分だけで起こした単独事故の場合、自分の車が壊れた場合などにも適用されます。

事故を起こした場合、賠償額は想像以上に高くなります。

自賠責保険（強制保険）の限度額（死亡3,000万円）を超えた金額は、加害者負担となります。

事故を起こした時のために、必ず任意保険に入ること！

③ 交通事故を起こした場合

以下のことをしてください。

- （a）ケガをしている人を助ける。必要な場合は救急車を呼ぶ。（電話：119）
- （b）車、バイクを安全な場所に移動させる。
- （c）警察に連絡する。（最寄りの警察署、分からない場合は電話：110）
- （d）保険会社に連絡する。

任意保険の加入先に電話する。事故の相手との交渉は、保険会社を通すこと。

- （e）事故の相手の名前、連絡先、車のナンバーをメモすること。

- （f）大学に連絡する。（指導教員、所属の教務係・学務係、国際課など）

任意保険に加入していないと、事故の相手との交渉など全て自分で行うこととなり、とても大変です。事故を起こした時のために、必ず任意保険に入ること！



④ 税金の支払い

日本では、車やバイクに税金がかかります。年1回支払うことになるので、注意してください。

(a) 自動車税→自動車（バイク（原付）、軽自動車以外）を所有している人に課税されます。

(b) 軽自動車税→バイク（原付）、軽自動車を所有している人に課税されます。

支払い方法

毎年4月1日に所有している人に通知が届き、銀行や郵便局、コンビニで支払ができます。

⑤ ヘルメット、シートベルトの着用

バイクを運転するときには、必ずヘルメットをかぶってください。車を運転するときには、シートベルトをしてください。助手席や後部座席の同乗者もシートベルトをする必要があります。

(2) 自転車について

① 交通ルール

自転車も、車のひとつとして扱われます！ 下記の危険行為は絶対にしないでください。



危険行為を行った場合、自転車運転者講習（有料）の対象となります。

自転車運転者講習

- ・講習手数料（標準） 6,000円
- ・受講しなかった場合の罰金 約50,000円
すべて自己負担です。

その他、自転車を対象とした罰則も数多く定められています。違反が確定すれば、罰則に従って罰金の支払い、もしくは懲役が科せられます。危険な乗り方はしないように注意しましょう。

自転車の主な違反と罰則

飲酒運転	5年以下の懲役又は100万円以下の罰金
携帯電話の使用	5万円以下の罰金
イヤホンやヘッドホンで音楽を聴く	
傘さし運転	
夜間の無灯火	
二人乗り	2万円以下の罰金
並進（2台以上で並んで運転すること）	

自転車は、決められた所に駐輪しましょう。特に徳島駅付近は駐輪禁止です。

違反した場合は、自転車は撤去されます。その時は、自分で万代町の保管所へ取りに行き、1,500円支払うことになります。

② 保険の加入について

留学生の自転車での交通事故やトラブルが多発しています。

事故の相手が車でも、自転車側に責任がある場合は、修理費用を請求されることがあります。

自転車に乗る方は、保険への加入を強くお勧めします。

【他人に怪我をさせた場合、他人の自転車や車にキズをつけた場合】

学生賠償責任保険

- ・通学中以外（アルバイトに行く途中など）でも保障されます。
- ・申込書・受付先：大学生協
- ・保険料：1年間で1,800円（2021年2月現在）

※民間アパートに住み、住宅総合保障に加入している方については、保障される場合もあるので、国際課に相談に来てください。



過去に留学生が自転車に乗っていて、他人に怪我をさせたケースがあります。

この留学生は保険に加入していなかったため、自分でお金を払うこととなりました。

※損害賠償金の例：自転車通学中の高校生が誤って歩行者に衝突し、重傷を負わせた。

→ 約 6,000 万円

自転車に乗る方は、この保険に加入することをお勧めします。



【自分がケガをした場合】

学生教育研究災害傷害保険

- 授業や研究、大学でのクラブ活動中などにケガをした場合に保障される。
- キャンパス外では、通学中と認められる場合に、保障される。
- 正規生（学部生、大学院生）は入学時に全員加入
非正規生（研究生、特別聴講学生、特別研究学生、科目等履修生など）も、学部によっては加入していることがあります。**未加入の非正規生の方もこの保険に加入することをお勧めします。**

申込先：学生支援係（学生証を持ってきてください。）

保険料：1年間で1,000円

学生総合共済「生命共済」

- 通学中以外のケガやその他の病気・ケガでも保障されます。
- 申込先：大学生協
- 保険料：1年間で14,400円（2021年2月現在）

③ 自転車を買った、もしくは、友達からもらった場合

必ず最寄りの警察署で防犯登録をすること。防犯登録をしていないと、盗んだ自転車だと警察から疑われることがあるので注意してください。買った場合は、自転車を買ったお店が代わりに登録してくれることもあるので、お店で確認してください。

④ 友達に自転車を譲る場合

譲る前に、登録をした警察署で、防犯登録の抹消手続きをしてください。

⑤ 交通事故にあった場合（加害者、被害者どちらの場合も）

以下のことをしてください。

- （a）ケガをしている人を助ける。必要な場合は救急車を呼ぶ。（電話：119）
- （b）車、バイクを安全な場所に移動させる。
- （c）警察に連絡する。（最寄りの警察署、分からない場合は電話：110）
- （d）保険会社に連絡する。
保険の加入先に電話する。事故の相手との交渉は、保険会社を通すこと。
- （e）事故の相手の名前、連絡先、車のナンバーなどをメモすること。
- （f）大学に連絡する。（指導教員、所属の教務・学務係、国際課など）

※加害者になった場合、保険に加入していないと、事故の相手との交渉など全て自分で行うこととなり、とても大変です。必ず保険に加入しましょう！

8. 国民年金について

日本国内に住んでいる 20 歳以上 60 歳未満の方は、国民年金に加入しなければなりません。

留学生のみなさんも加入しなければなりません。

ただし、所得が少ない学生の方には、**学生納付特例制度**という保険料の納付が猶予される制度があります。申請は、お住まいの市役所または役場で行ってください。

※将来的に日本での就職を考えている人は、必ず**学生納付特例制度**の申請をしておいてください。年金が受給できなくなります。

【問い合わせ先】

徳島市役所：088-621-5161・5162

北島町役場：088-698-9801

【年金の種類】

- (1) 老齢基礎年金→国民年金に加入して受給資格期間を満たした人が 65 歳になったときから支給されます。
- (2) 障害基礎年金→国民年金加入中に障害の認定を受けたときに支給されます。
- (3) 遺族基礎年金→国民年金加入者や加入したことがある人が亡くなったときに、その人によって生計を維持されていた子どもがいる妻または子どもに支給されます。



9. 法令遵守について

母国では犯罪にならなくても、日本では犯罪となることがあります。

(1) ゴミ置き場にいったものを持ち帰る。

テレビ、自転車、電化製品などの財産的価値があるものの場合は横領罪となります。

(2) 勝手にゴミを捨てる。

決められた場所や方法以外で捨てると法律違反になります。罰金が課せられることもあります。

(3) 銀行口座を貸す。

友達に頼まれても自分の銀行口座を貸さないようにすること。友達が不正な商売に使用することもあります。その事実を知らなくても、不利益となることがあります。(ビザの更新が許可されない、など)



(4) 商売

日本の製品を母国に送ってお金を稼ぐ、母国で安く買ってきて、日本のネットオークションに出品してお金を稼ぐ、などの行為は違法となります。絶対にしないこと。

(5) 薬物(覚醒剤、大麻、MDMA、MDA、コカイン、ヘロイン、シンナー、危険ドラッグなど)

日本では、麻薬などの所持、使用、購入、譲り受けは禁止されています。

違反した場合、懲役または罰金が課されます。

★危険ドラッグとは

お店やインターネット上で、「合法ハーブ」「お香」「アロマ」などとして、用途を偽って売られています。しかし、大麻や麻薬、覚醒剤などと同じ成分が含まれており、大変危険で、違法なドラッグです。

●品物が何なのか判断できないときは、購入しないこと！

●知り合いや友達に薬物の使用をすすめられても、きっぱりと断ること。

●一時帰国の際に知らない人の荷物を預からないこと。（麻薬の運び屋にされる場合があります。）



10. マイナンバー制度について

住民票を有する全ての人に、1人1つのマイナンバー（個人番号）が通知されます。



アルバイトをする時に、勤務先に提出するなど、必要になります。通知カードを紛失しないよう、注意すること。

マイナンバー制度については、内閣官房、「マイナンバー社会保障・税番号制度」

<https://www.cao.go.jp/bangouseido/>

多言語での説明はこちら

<https://www.cao.go.jp/bangouseido/foreigners/>

Ⅲ 住居について

1 1. 民間のアパートについて

民間のアパートに入居する方で、大学生協以外の不動産屋に行く場合は、必ず事前に国際課に相談に来てください。

1 2. 留学生住宅総合補償制度への加入について

(1) 内容 加入により、借りた部屋で火事や水もれ等を起こして家主に損害賠償をしなければならなくなった時に補償されます。

(2) 保険料等 1年間コース→4,000円(保険料2,500円、加入金1,500円)

2年間コース→8,000円(保険料5,000円、加入金3,000円)

(3) 補助金 加入手続後に徳島大学後援会から補助金が出ます。(1,500円又は3,000円)

(4) 手続先 常三島地区留学生→国際課(常三島)

蔵本地区留学生→国際課(蔵本)、所属している学部の教務・学務係

※徳島大学では、民間宿舎等へ入居する留学生は全員、留学生住宅総合補償制度に加入することを義務づけています。民間宿舎へ入居する留学生は、必ず加入してください。



【徳島大学留学生機関保証制度について】

内容 留学生が民間アパートを借りる場合に、徳島大学(高等教育研究センター長)が連帯保証人となる制度

利用条件 ・留学生本人が徳島大学に在籍。

・本人の在留資格が「留学」であること。

・公益財団法人日本国際教育支援協会の「留学生住宅総合補償」に加入すること。

手続先 常三島地区留学生 → 国際課(常三島)

蔵本地区留学生→国際課(蔵本)

※機関保証制度を使ってアパートを借りた場合、卒業等で徳島大学の留学生でなくなったら、すぐにアパートを退去するか、賃貸契約を変更しなければなりません。

1 3. 留学生宿舎について

(1) 国際交流会館

場 所 板野郡北島町

部屋数 単身棟32室、世帯棟18室

共用施設 多目的ホール、洗濯室、シャワー室等



寄宿料（月額）

単身室→5, 900円（シャワー代が、別途月額1, 000円かかります。）

夫婦室→9, 500円

家族室→14, 200円

（2）日亜会館留学生宿舍（女性のみ）

場 所 徳島市新蔵町

部屋数 単身室30室

寄宿料（月額） 11, 000円

（3）蔵本宿舍

場 所 徳島市蔵本町

部屋数 単身室19室

寄宿料（月額） 28, 000円

（4）受付場所 常三島地区→国際課（常三島）

蔵本地区→国際課（蔵本）、所属学部教務・学務係

IV 健康診断等について

14. 定期健康診断の実施について

法律に基づき全員受診することが義務づけられています。

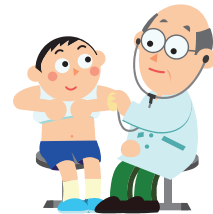
（1）実施時期 毎年4月～5月、10月

（2）実施内容 血液検査、尿検査、胸部X線撮影等

（3）経費負担 なし

※健康診断を受けていない人は、自分のお金を支払って受けなければなりません。

※民間奨学金の申請や、就職活動の時に、健康診断書が必要となることがあります。



15. キャンパスライフ健康支援センターの利用について

病気、ケガ、その他、ハラスメント等を含む学生生活上の悩み、治療の相談に利用することができます。

場所 常三島地区 → 教養教育5号館1階

蔵本地区 → 蔵本会館2階



V 各種申請について

16. 各種証明書の発行について

成績証明書等の証明書が必要な者は、所属学部の教務・学務係へ申し込むこと。



17. 各種届け出について

身上調書は必ず提出すること。住所・連絡先に変更がある場合も必ず届け出ること。

18. 渡日一時金について

外国から留学のために渡日した者を対象に、徳島大学後援会から2万円を支給。

ただし、次の7項目に該当する場合は、対象となりません。

- (1) 本学在学予定期間が6ヶ月未満の者
- (2) 国費留学生、政府派遣留学生である者
- (3) 奨学金を受給もしくは予約採用されている者
- (4) 奨学金に相当する補助を受給することが予定されている者
- (5) 日本国内の他大学、高等専門学校、日本語学校等から本学に入学・編入学した者
- (6) 過去に徳島大学で在学していた者
- (7) 配偶者又は家族が徳島に在住している場合

※申請書は国際課（常三島・蔵本）にあります。

19. 貸付金制度について

徳島地域留学生交流推進協議会が、下記の範囲内で貸付を行っています。

区分	貸付金額	返済方法
貸付	10万円以内	6ヶ月以内に一括又は分割返済

申請書類は、国際課（常三島・蔵本）にあります。



VI ビザ関係について

20. 在留期間の更新について

在留期間を超えて在学する者は、在留期間の更新手続きが必要です。

在留期間満了日の3カ月前から申請が可能です。

更新の申請時には、申請者本人が日本にいること。



提出先 常三島地区→国際課（常三島）毎週木曜日（第3木曜日を除く）

蔵本地区→国際課（蔵本） 毎月第3木曜日

※上記の曜日には、ビザについての専門家である行政書士の先生が、相談にのってくれます。

【必要書類】

- (1) 在留期間更新許可申請書（用紙は国際課（常三島・蔵本））
- (2) 在留カード原本
- (3) 成績証明書（正規生のみ必要）
- (4) 在学証明書
- (5) 研究内容が記載された証明書（研究生のみ必要）（所属学部担当係で発行）
- (6) 所属機関等作成用書類交付願（用紙は国際課（常三島・蔵本））と履修登録確認表（正規生のみ必要）
- (7) 手数料納付書（用紙は国際課（常三島・蔵本））
- (8) 更新手数料 4,000円
- (9) 経済状況を示す資料
（奨学金証明書、銀行通帳コピー、経費支弁書、在職証明書、収入証明書等）

※経済状況を示す資料については、在留期間満了の3か月前までに国際課に相談してください。

- (10) パスポート
- (11) 証明写真（4cm×3cm、過去3か月以内に撮影されたもの）在留カード貼付用

21. 在留カードについて

在留カードは、常時携帯する義務があります。

警察官から提示を求められた場合は、提示する義務があります。

携帯していなかった場合、提示しなかった場合は、罰金が科されることがあります。

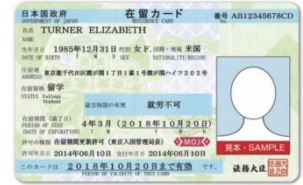
(1) 紛失した場合

- ①最寄りの警察に届出をすること。
- ②再発行手続きをすること。（紛失したことが分かってから14日以内に行う。）

(2) 必要書類

- ①在留カード再交付申請書（用紙は国際課（常三島・蔵本））
- ②証明写真（4 cm × 3 cm、過去3か月以内に撮影されたもの）
- ③紛失したことを証明する書類（遺失届出証明書、盗難届出証明書等）
- ④パスポート

提出先 国際課（常三島・蔵本）



2.2. 一時帰省等について

一時帰省するときや日本国外に渡航する場合は、必ず国際課（常三島・蔵本）に「海外旅行届」を提出してください。用紙は、国際課（常三島・蔵本）にあります。

また、各学部教務・学務係には、「海外渡航届」を提出してください。用紙は国際課（常三島・蔵本）または所属学部の教務・学務係にあります。

(1) 出国後1年以内に日本に帰ってくる場合は、再入国許可を取る必要はありません。

（この制度を「みなし再入国許可」といいます。）

ただし、出入国時にパスポートと在留カードを必ず携帯しておくこと。

(2) 出国後、1年以内に日本の在留期間が切れる場合は、在留期間が切れる前に再入国してください。

(3) 出国後1年以上日本に帰ってこない場合は、出国前に再入国許可を取る必要があります。

そうしない場合は、再入国ができず、再度、ビザを申請しなければなりません。

（用紙は、国際課（常三島・蔵本）にあります。）

この許可を得ずに出国した場合は、日本に帰ってくることができないので注意すること。

2.3. アルバイト（資格外活動）について

「留学」の在留資格で在留する外国人は、就労することが認められていません。

アルバイトをしようとする場合には、資格外活動の許可が必要です。

休学中の方はアルバイト（資格外活動）はできません。

(1) 必要書類

- ①資格外活動許可申請書（用紙は国際課（常三島・蔵本）にあります。）
- ②在留カード原本
- ③パスポート

(2) アルバイトの時間数

① 1週間に28時間以内

② どの曜日から数えても1週間に28時間以内でなければいけない。

（例：4/1（月）～4/7（日）までで数えても、4/2（火）～4/8（月）までで数えても28時間

以内であること)

※注意 過去に、週28時間を超えてアルバイトをしたため、ビザの更新が許可されなかったことがあります。

③ 学則で定める長期休業期間に限っては、1日につき8時間までアルバイトをすることが可能。

※注意 4月～5月のゴールデンウィーク期間は長期休業期間ではありません。

※学則で定める長期休業期間が分からない場合は、国際課に問い合わせてください。

(3) アルバイトしてはいけない場所

スナック、バー、クラブ、キャバレー、パチンコ店、麻雀店、ゲームセンターなど。

(4) 処罰について

下記の場合、国外強制送還となることがあります。

- ① 資格外活動の許可を受けることなくアルバイトを行った場合
- ② 勉強をせずに、アルバイトばかりを行っていたと明らかに認められる場合
- ③ 1週間に付き28時間を超えて働いた場合
- ④ 風俗営業または風俗関連営業が営まれている営業所（上記（3）のような場所）で働いた場合

(5) アルバイトについて

① 開始前

アルバイトを始める前に、雇用主と条件等についてよく話し合うこと。

就業規則をよく読んでおくこと。

必ず「労働条件通知書（雇入通知書）」の交付を請求すること。

内容が分からない場合 → 日本語ができる友達、国際課職員に相談すること。



② 辞める時

遅くとも、辞める1ヶ月前までには、アルバイト先の責任者に伝えること。

直接、責任者と話をし、了承を得ること。（電話やメールで伝えるだけではダメ）

2.4. 入国管理局への届出について

下記の場合は、14日以内に入国管理局へ「活動機関に関する届出」などの届出をする必要があります。届出を怠ると、罰則の対象となったり、次回のビザの更新が許可されないこともあります。

※ただし、卒業・修了・退学等後、すぐに帰国する場合には、空港の出国審査時に在留カードを返却すれば、届出をする必要はありません。

(1) 届出が必要な場合

- ① 卒業・修了、退学、除籍等になったとき→様式1の2
- ② 日本国内の他の大学等に転学・入学したとき→様式1の2，様式1の3

③日本国内の他の大学等から転学・入学したとき→様式1の2, 様式1の3

※様式は、下記から、ダウンロードしてください。

URL : https://www.isc.tokushima-u.ac.jp/documents_list/

(2) 届出方法 (下記のいずれかの方法で行ってください)

①入国管理局に直接提出

最寄りの入国管理局で届出書と在留カードを持参

②郵送

宛先 : 〒160-0004 東京都新宿区四谷一丁目6番1号四谷タワー14階

東京出入国在留管理局在留管理情報部門受付担当

※封筒の表面に「届出書在中」と赤いペンで書くこと。

※在留カード (両面) の写しを同封すること。

③インターネット (下記の順で行ってください)

1. 入国管理局のHPにアクセス

<https://www.ens-immi.moj.go.jp/NA01/NAA01S/NAA01STransfer> (日本語)

<https://www.ens-immi.moj.go.jp/NA01/NAA01S/NAA01SEventAction?hdnGng=L2> (英語)

2. 「中長期在留者はこちら」をクリック

3. 「認証ID発行」をクリックし、利用者登録を行う

4. 認証ID、パスワードを入力し、必要な届出を行う



VII 日本での生活について②

25. 日本国内での引っ越しについて

(1) 現在の市内または町内に引っ越しする場合→引っ越し後、14日以内に

「転居届」を提出してください。

届出先→在住の市役所または役場

必要な物→パスポート、在留カード、国民健康保険証

(2) 現在の市外または町外に引っ越しする場合→引っ越し後、14日以内に以下の手続きをしてください。

①「転出届」→引っ越しの1ヶ月前から届出可能。

届出先→引っ越し前に在住の市役所または役場

必要な物→パスポート、在留カード

届出後、「転出証明書」を交付してくれます。

「転出証明書」は、引っ越し先の市役所または役場に「転入届」を提出する際に必要です。



②国民健康保険の脱退

申出先→引っ越し前に在住の市役所または役場

必要な物→パスポート、在留カード、国民健康保険証

③「転入届」

届出先→引っ越し後に在住の市役所または役場

必要な物→パスポート、在留カード

④国民健康保険の加入

届出先→引っ越し後に在住の市役所または役場

必要な物→パスポート、在留カード

(3) 引っ越し先に関係なく共通する項目

①新住所を連絡すること。所属学部・学務係と国際課へ。

②遅くとも1ヶ月前までに寮の管理人やアパートの大家、不動産屋（生協など）に引っ越し日を連絡し、家賃を支払う。

※大家への連絡が遅くなると、住んでいなくても翌月分の家賃を支払うことになります。

契約書をよく読んでおいてください。

③電気、ガス、水道の会社に連絡し、料金を支払う。

④郵便局に転居届を行う。（転居先に郵便物が転送されます。）

⑤携帯電話を持っている場合は、携帯会社へ住所変更の連絡をする。

帰国する場合は、解約の手続きを行い、料金の支払いを完了しておく。

⑥自転車を友達に譲る場合は、防犯登録の抹消をする。

⑦入国管理局へ「活動機関に関する届出」等を届け出る。

※本学を卒業・修了・退学等をする場合、他大学へ転学する場合のみ
・・・詳細は「24. 入国管理局への届出について」

26. 留学生と地域住民等との交流会等について

地域住民との交流会、文化体験交流会等が開催されることがあります。

開催される場合は、国際課（常三島・蔵本）、またはインターナショナルオフィスホームページに掲載してお知らせします。

行事に積極的に参加し、地域住民の方々との交流を深めてください。



27. 宗教等の勧誘について

寮やアパートに宗教の勧誘の人が来ることがあります。

電話番号などの個人情報を教えないこと。

勧誘がしつこい場合は、各学部の教務・学務係か国際課に相談に来るようにすること。

勧誘でなくても、大学外のよく知らない人には、電話番号などの個人情報を教えないこと。

VIII 帰国前の手続について

28. 帰国前の手続き

卒業・修了等で母国に帰る前には、下記のことを行ってください。

- (1) 各学部教務・学務係や国際課にいつ帰国するのか連絡する。
- (2) 遅くとも1ヶ月前までに、寮の管理人やアパートの大家、不動産屋（生協など）に帰国日を連絡し、家賃を支払う。
※1 大家への連絡が遅くなると、住んでいなくても翌月分の家賃を支払うことになります。
※2 大学の寮に入居している場合は、退去の1ヶ月前までに国際課（常三島・蔵本）に「退居届」を提出する。
- (3) 電気、ガス、水道の会社に連絡し、料金を支払う。
- (4) 携帯電話を持っている場合は、携帯会社で解約の手続きをし、料金の支払いを完了しておく。
- (5) 銀行などの口座を解約する。
- (6) 在住の市役所または役場に転出届を提出する。
・・・詳細は「25. 日本国内での引っ越しについて」(2)
- (7) 市役所または役場で国民健康保険の脱退手続きを行う。
・・・詳細は「25. 日本国内での引っ越しについて」(2) ②国民健康保険の脱退
- (8) 自転車を友達に譲る場合は、防犯登録の抹消をする。
- (9) 入国管理局へ「活動機関に関する届出」を届け出る。
・・・詳細は「24. 入国管理局の届出について」
※ただし、卒業・修了・退学等後、すぐに帰国する場合には、空港の出国審査時に在留カードを返却すれば、届出をする必要はありません。
- (10) 空港で在留カードを返却する。

注意：ビザの期限が残っていても、卒業・修了等で大学を離れる場合は、「留学」のビザのまま、日本にすることはできません。速やかに帰国するか、就職のためのビザに変更してください。



IX まとめ

29. インターナショナルオフィス・国際課について

分からないことや困ったことがあれば、まず、指導教員に相談すること。

また、インターナショナルオフィス・国際課は、留学生に係る全般的な仕事をしています。

留学生対象の行事も開催しています。行事に積極的に参加して、異文化を体験してください。

困ったことやわからないことがあれば、いつでも気軽に相談に来てください。

お待ちしております。

インターナショナルオフィス

教員名	電話番号	E-mail
教授 金 成海	TEL. 088-656-7543 (内線 82-7543)	kin@tokushima-u.ac.jp
准教授 坂田 浩	TEL.088-656-7199 (内線 82-7199)	kobayashi@tokushima-u.ac.jp
講師 チャン ホアン ナム	TEL.088-633-9109 (内線 83-9109)	tran@tokushima-u.ac.jp

国際課

担当係	電話番号	E-mail
国際課留学生支援係	TEL. 088-656-7079 (内線 82-7079)	ryugakuk@tokushima-u.ac.jp
国際課国際企画係	TEL. 088-656-7491 (内線 82-7202)	kokukikakuk@tokushima-u.ac.jp
国際課蔵本分室	TEL. 088-633-7398 (内線 83-7398)	—
国際交流会館（北島）	TEL. 088-698-1244	—



常三島地区；インターナショナルオフィス・国際課



蔵本地区；国際課蔵本分室



中文 目录

I 校园生活--P24

1. 学费减免申请
2. 奖学金（私費留学生）
3. 关于留级
4. 关于休学

II 日常生活（1）--P24~P30

5. 到日本后需要立刻办理的手续
6. 关于国民健康保险
7. 有关驾驶
8. 有关国民养老金
9. 关于遵守法律
10. 国民编号制度

III 居住--P31

11. 关于民间住宅
12. 关于加入留学生住宅综合赔偿制度
13. 国际交流会馆及日亚会馆留学生宿舍

IV 健康体检等 - - -P32

- 14. 定期健康诊断的实施
- 15. 校区生活健康支援中心的利用

V 各种申请 - - -P32~P33

- 16. 各种证明书的发行
- 17. 各种提交手续
- 18. 渡日补助金
- 19. 有关贷款制度

VI 关于签证 - - -P33~P36

- 20. 在留期间的更新
- 21. 关于在留卡
- 22. 临时回国
- 23. 关于打工(资格外活动)
- 24. 有关入国管理局的申报手续

VII 日常生活 (2) - - -P36~P37

- 25. 日本国内住所变更时需要办理的手续
- 26. 留学生和附近居民等的交流会等
- 27. 关于宗教等

VIII 回国前的手续- - -P37

28. 回国前的手续

IX 总结- -P38-P39

29. 国际办公室及国际课

I 校园生活

1. 学费减免申请

私费留学生（政府派遣及研究生・科目等履修生除外）进入本大学后，学业成绩优秀者，由于经济上的原因支付学费有困难的情况下，在本人申请，学校选考的基础上，实行该学期学费的全额或者半额的减免。希望学费减免的留学生可向所在学部的教务・学务系（综合科学部和工学部为学务部学生支援科）提出申请。藏本地区留学生请提交到所属学部的教务・学務係。

申请书类有提出期限，请一定规定的期限内提出申请。（申请的受理，前期3月中旬，后期9月下旬。）



2. 奖学金（私費留学生）

关于私费留学生的奖学金，如有募集，每次都会通过布告等形式进行通知，符合应募要项的留学生可以提出申请。

本校留学生的奖学金情况请看另表。

3. 关于留级

留级2次以上，签证会遇到拒签的情况（只能退学回国。特别是本科生），请大家注意。



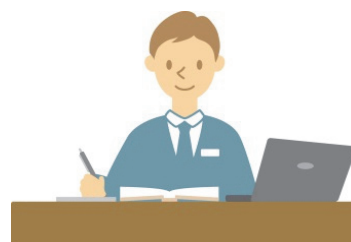
4. 关于休学

如果有3个月以上休学的状况，并没有身体疾病等正当理由的情况下，必须回国。各位取得着的「留学」签证，前提是具有充分为留学资金。因而，「经济方面的原因」是不能够成为正当理由。没有正当的理由（疾病等），若有3个月以上不参加学校的活动（休学的情况下），也可能被取消在留资格的情况。另外，休学期间不允许打工。

II 日常生活（1）

5. 到日本后需要立刻办理的手续

- 1) 転入届的提交——来日后14天之内。
 - ① 提交处：所在市役所或办事处（役场）
 - ② 提交材料：在留卡或护照
- 2) 加入国民健康保险——请参考【6. 关于国民健康保险】。



3) 办理银行帐户

- ① 邮局银行: 护照, 在留卡, 学生证
- ② 其他银行: 护照, 在留卡, 印鉴

※在日本国内来本校的学生

1) 転入届の提交-----来日后 14 天之内

- ① 提交处: 所在市役所或办事处 (役场)
- ② 提交材料: 「転出証明書」(前所住行政机构发行的), 在留卡

2) 加入国民健康保険-----以前所持国民健康保険已无效。需重新办理。

3) 关于入国管理局的申报-----入学后 14 天之内必须向入国管理局申报「活動機関に関する届出」的手续。请参考【24. 有关入国管理局的申报手续】。

6. 关于国民健康保険

3 个月以上滞留在日本的外国人, 具有加入国民健康保险的义务。加入国民健康保险, 需要支付一定数量的保险料。如果加入国民健康保险, 生病或受到意外伤害的情况下, 治疗费的 70% 由国民健康保险承担。

- ① 提交处: 所在市役所或办事处 (役场)
- ② 提交材料: 护照, 在留卡

7. 有关驾驶

日本的交通法规十分的严厉, 违反交通法规的情况下, 将课以罚金, 所以请您牢记交通法规。

※饮酒后绝对不能驾车。给饮酒的人借车, 同乘都会触犯法律。

处罚

酒醉驾车	驾驶者	5 年以下拘役或 100 万元以下罚款
	车辆提供者	
	同乘着	3 年以下拘役或 50 万元以下罚款



① 有关汽车・摩托

(a) 在日本驾驶汽车, 摩托车等的时候, 必须持有日本驾驶执照或者国际驾驶执照。

【取到驾驶执照方法】

I) 到汽车学校学习, 毕业后考取驾驶执照。

汽车学校的费用一般需要 25-35 万日元。并需要一定程度的日语水平。

汽车的驾驶执照考试可已用日语, 英语或汉语。

II) 把自己国家取得的驾驶执照换成日本的驾驶执照。

需要的手续及注意事项



1. 在国外取得驾驶执照后，在其国家有 3 个月以上的滞留期才有效。
2. 驾驶执照在有效期内。
3. 必须通过技能考试和学科考试（笔试）。

详情可咨询驾驶执照中心（板野郡松茂町，电话：088-699-0110）

III) 使用国际驾驶执照

1. 持日内瓦条约加盟国发行的驾驶执照者，进入日本后有效只有一年。

※根据发行国家，有些在日本不能使用。

比如蒙古发行的驾驶执照在日本不能使用。

2. 在发行国家有 3 个月以上的滞留期才有效。

(注意)

※计划在日本 1 年以上者，请用上面的 I 或 II 的方式取得驾驶执照。

※如果没有取得驾驶执照的情况下进行驾驶或万一发生事故的情况下，将进行从重处罚。没有取得驾驶执照的情况下，请不要驾驶。

(b) 有关保险

在发生交通事故时为了得到补偿或赔偿，请一定加入任意保险。

※ 汽车保险分为自动车赔偿保险和任意保险两种保险。

○自动车赔偿保险（强制保险）

汽车・摩托车的所有者和驾驶者必须加入的保险。在发生事故时得到赔偿金额较少。若要驾车・摩托车，这个保险是强行要求加入的保险。

可保范围很小，只保造成他人死亡或受伤。对自身，对物，对车等费用一律不在被保范围之内。

○任意保险

弥补自动车赔偿保险的汽车保险。虽然不是强制，但发生事故的时所得到的赔偿金额较大。也适用于对他人造成的人身伤亡以外，对他人损坏的物(车等)，及由自己引起发生的事故，自己的车被损坏的情况。

在发生交通事故时为了得到补偿或赔偿，请一定加入任意保险。

(c) 当发生交通事故时

1. 帮助受伤人员，必要时叫救护车。（电话：119）
2. 把汽车，摩托车等移到安全的地方。
3. 和警察联系。（到最近的警察署或打 110）
4. 和保险公司联系。事故的处理最好通过保险公司。
5. 记录对方的姓名，联系方式，车牌号等。
6. 和学校取得联系。（指导教师，所属的教务或学务係，国际课等）

※如果没有加入任意保险，事故的处理都要自己去办理，非常麻烦。为了以防万一，必须加入任意保险。

(d) 支付税金

在日本，车和摩托车是需要上税的。请注意，一年支付 1 次。

【种类】

○汽车税→对持有汽车（摩托车、轻车以外）的人征税。



○小型汽车税→对持有摩托车、轻车的人征税。

【支付方法】

在每年的4月1日把付款单邮送到纳税人手里,在银行和邮局、便利店都能支付。

(e) 要戴安全头盔、系安全带

开摩托车,必须要戴安全头盔。

驾驶车时,要系上安全带。不驾驶的人也需要系上安全带。

② 有关自行车

(a) 关于保险

★最近,留学生的自行车事故频频发生,强烈要求骑自行车的同学



驾驶自行车有危险行为时要接受讲习。

自行车讲习

- 讲习费(標準) 6,000円
- 如果不接受讲习罚款 50,000円

且、针对自行车的罚则也有很多的规定。如果违反了规定、需要交纳罚款、或负刑事责任。骑自行车时请注意不要做危险的行为。

自行车的主要违反规定和罚则

饮酒骑车	5 年以下拘役或罚款 100 万日元以下
骑车打手机	罚款 5 万日元以下
用耳机听音乐	
骑车打伞	
不点车灯	
骑车带人	罚款 2 万日元以下
二人并骑	

自行车一定要停放在指定的场所，特别是德岛站附近禁止停放自行车。
一旦发现会将自行车搬到万代町。领时还要付 1500 日元的手续费。

○ 对方受伤及对方车辆受损时

对方车辆受损，自行车方若有责任时，要承担修理费用。

✦ 学生賠償責任保險

- 上学以外（去打工的途中）也能得到保障
- 申请处：大学生协
- 保险费：1 年 1,800 日元

※加入住宅総合保障的话有的情况下也能得到保障，请到国际课确认。

※过去有过留学生因没有加入保险，结果自己承担了全部费用。骑自行车的同学一定要加保险。

（赔偿例） 骑自行车上学的高中生撞到步行者，造成重伤。保险公司赔偿 6,008 万日元。

○ 自己受伤时

✦ 学生教育研究灾害伤害保险

- 上课及研究，学校的俱乐部活动时的受伤也能得到保障。
- 只有上学途中才能得到保障。
- 正规生（本科生，大学院生）已加入。
- 非正规生（研究生、特別聴講学生、特別研究学生、科目等履修生等）、有的学部也已加入。推荐还未加入的非正规生加入这个保险。
- 申请：学生支援係（请带学生证。）
保险费：1 千日元/年



✦ 学生総合共済生命共済

- 上学途中以外及其他疾病・受伤也能得到保障。
- 申请处：大学生协
- 保险费：1 年 14,400 日元

(b) 购买或从朋友那里得到自行车后，请马上到警察署办理『防范登录』手续。
不然会被警察误认为被盗自行车。

如果在自行车店购买时，自行车店也可以代替『防范登录』手续的登记，请确认。

(c) 如果把自行车转让给朋友时

回国前到警察署，请办理登录取消手续。

(d) 交通规则

- ・禁止酒后骑自行车。禁止自行车带人。
- ・禁止两辆自行车并排行驶。
- ・天黑时，一定要点车灯。
- ・禁止用手机边行驶。不要戴耳机或打伞骑自行车。
- ・不要随便骑被放弃的自行车。



(e) 当发生交通事故时（包括肇事或被撞）

1. 帮助受伤人员，必要时叫救护车。（电话：119）
2. 把汽车，摩托车等移到安全的地方。
3. 和警察联系。（到最近的警察署或打 110）
4. 和保险公司联系。事故的处理最好通过保险公司。
5. 记录对方的姓名，联系方式，车牌号等。
6. 和学校取得联系。（指导教师，所属的教务或学务係，国际课等）

※如果没有加入任意保险，事故的处理都要自己去办理，非常麻烦。为了以防万一，必须加入任意保险。

8. 有关国民养老保险金

住在日本国内的 20 岁以上 60 岁未滿者，必须要加入国民养老保险金。要求每位留学生也必须加入。但是、对收入较少的学生，制定有学生缴纳特例制度保险费缓期缴纳制度。可以向所在的市政府申请享受。

※在将来考虑在日本就职的留学生，请务必事先申请享受学生缴纳特例制度。

否则、将来不能领取养老保险金。

【咨询处】

徳島市役所：088-621-5161・5162



北島町役場：088-698-9801

【养老保险金的种类】

- ① 老年基础养老金→加入国民养老金并交满领取资格时间者，可从 65 岁开始领取。
- ② 障碍基础养老金→加入国民养老金者中，成为残疾人时领取。
- ③ 遗族基础养老金→加入国民养老金者和加入过的人死亡时，靠死亡者维持生计妻子和孩子领取。

9. 关于遵守法律

在自己国家合法的事情，在日本可能是非法。

1) 随便拿垃圾站的物品。

捡电视，自行车，电器产品等有价值的物品，犯【横领罪】。

2) 随便扔垃圾

随便把垃圾扔在指定场所之外是属于违法行为。会受到处罚。

3) 银行帐号的转让

不要轻易将自己的银行帐号借给他人。他人用这个帐号做生意的话会退你产生不良影响。

比如签证的延期。

4) 做生意

把日本的产品寄到国内，或把国内产品在网上出售等经商行为，都是违法的。

5) 麻药（兴奋剂，大麻，MDMA，MDA，可卡因，海洛因，辛纳，等危险药品）

在日本持有麻药，使用，买卖，转让都是违法行为。违法者会受到拘役，罚款。

★危险药品

经常会在店里或在网上，伪装成合法香料等进行贩卖。但是，其成分与大麻，兴奋剂等相近。是极其危险药品。请大家注意。



危险药品：

有时在网上以合法药草，蚊香，香料等名义贩卖药品。其中有些含有大麻或麻药，兴奋剂等成分。非常危险，是违法药品。请大家注意！

●在不知详情的情况下千万不要购买！

●如果有朋友向你推荐时一定要严厉拒绝。

●回国时不要携带不认识人的物品（有时会有搬运麻药危险性。）



(例) (内閣府 HP 資料)

10. 国民编号制度

2015（平成 27）年 10 月起、对所有公民发行国民编号。



打工时有时需要提交国民编号。请注意保管，不要丢失。

关于国民编号制度请参考内阁官房「マイナンバー 一社会保障・税番号制度」

<http://www.cao.go.jp/bangouseido/>

多国语说明请看

<http://www.cao.go.jp/bangouseido/foreigners/index.html>

Ⅲ 居住

11. 关于民间住宅

在外租房时，除大学生协介绍的以外请事先到国际课联系。



12. 关于加入留学生住宅综合赔偿制度

为了缓解留学生找保证人难和减轻保证人的精神上和经济上的负担，保证留学生能够安心学习，

德岛大学规定所有住校外的留学生必须加入留学生住宅综合赔偿制度保险。

保险金及加入金，1年4,000日元（保险费2,500日元，加入金1,500日元），2年8,000日元（保险费5,000日元，加入金3,000日元）。

另，办完手续后将退还加入金(1,500或3,000)（加入金由学校承担）。关于入会手续，常三岛地区的留学生请到国际课办理，藏本地区的留学生请到所属学部的学务系办理。・学務係

※关于德岛大学留学生连带保证人制度

德岛大学制定了留学生在外租房时的保证人由德岛大学（国际教育研究中心长）承担连带保证人的制度。条件是，本人必须是在校学生并持有【留学签证】还要加入财团法人日本国际教育支援协会的『留学生住宅综合赔偿』。

有关手续，常三岛地区的留学生请到国际课办理，藏本地区的留学生请到国际课办理（藏本）。

由于毕业等原因失去留学生身份时，请及时更改租房合同书。

13. 国际交流会馆及日亚会馆留学生宿舍

本大学，以作为留学生住宿设施，在板野郡北岛町设置了国际交流会馆，在德岛市新藏町设置了日亚会馆留学生宿舍。国际交流会馆是钢筋混凝土的建筑，由32套组成的单身栋和18套组成的家族栋组成。公用设施有多目的活动室，洗涤室，沐浴室等。月租金为单身室5,900日元（淋浴费另收1,000日元。），夫妇室9,500日元，家庭室14,200日元。另外，日亚会馆留学生宿舍只允许女学生居住，月租金为11,000日元。入居希望者，请到所属学部的学务系提出申请。

(1) 国际交流会馆

地点 板野郡北岛町

房间数 单身楼32间，家族楼18间

公共设施 多目的活动室，洗涤室，沐浴室等

费用（月額）

单身室 5,900日元（淋浴费另收1,000日元）

夫妇室 9,500日元

家庭室 14,200日元



(2) 日亚会馆留学生宿舍（女生宿舍）

地点 德岛市新藏町

房间数 单身30间

费用（月額） 11,000日元

(3) 藏本宿舍

地点 德岛市新藏本町

房间数 单身19间

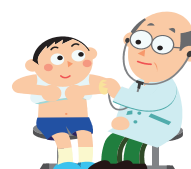
费用（月額） 28,000日元

IV 健康体检等

14. 定期健康诊断的实施

依据学校保健法，定期健康检查全员受诊是每一位学生的义务。本学校在每年的实施时期4月，10月左右实施血液检查，尿检查，胸部X线摄影等健康检查，为了进行自己的健康管理，请一定接受健康检查。

定期健康检查是免费的。※申请民间奖学金或就职活动时，有时需要健康证明。



15. 校区生活健康支援中心的利用

如果有疾病，受伤，其他，骚扰等生活上的苦恼或有关治疗都可以咨询。

常三岛地区 教養教育棟5号館1楼

藏本地区 藏本会馆2楼



V 各种申请

16. 各种证明书的发行

需要成绩证明书等证明书的留学生，请到常三岛国际课・藏本国际课分室。

17. 各种提交手续

《身上调书》必须提交。地址・联络方式等发生变化时，请及时提交有关手续。



18. 渡日补助金

对从外国直接来本校的学生支付2万日元的渡日补助金。

但，下面的7项，不成为支付对象。

- 预定德岛大学在校期间不满6个月的人。
- 国费留学生，政府派遣留学生。
- 被领取奖学金的学生，或，被预定奖学金的学生。
- 被预定补助的学生。
- 从日本国内其他大学，高中，日语学校入学・插班的人。
- 过去，在德岛大学在校的人。
- 如果配偶或家属家属为德岛居住的人。

（所属学部的学务系（国际课国际交流系）备有申请书



19. 有关借款制度

【德岛地区留学生交流推进协议会】为留学生提供以下服务需要临时回国旅费和临时特别费用时的

区分	借款金额	还贷方法
借款	10 万日元以内	在 6 个月以内一次还清或分期付款

常三岛国际课・藏本国际课分室备有申请表。

VI 关于签证

20. 在留期间的更新

在留期间满了日 3 个月前，请准备好有关书类，仔细检查好所填内容，到（常三岛国际课・藏本国际课分室）办理在留期间更新手续。申请期间本人必须在日本国内。

常三岛国际课 每周四（第 3 周四除外）

藏本国际课分室 每月第 3 周四

上述时间可与【行政书士】等专门人员进行咨询。

在留期间的更新必要书类如下所示。

- 1) 在留期间更新许可申请书（常三岛国际课・藏本国际课分室）备有申请书）
- 2) 在留卡复印（两面）※期间更新一旦批准下来，由国际课联络通知，届时、请持在留卡原本来。
- 3) 成绩证明书（限于正规生）
- 4) 在学证明书
- 5) 记载有研究内容的证明书（研究生须提供）（所属学部的学务系发行）
- 6) 所属机关作成用交付愿望（常三岛国际课・藏本国际课分室）备有申请书），学习登记确认表（正规生须提供）
- 7) 手数料纳付书（常三岛国际课・藏本国际课分室）备有）
- 8) 更新手续费 —— 4,000 日元的收入印纸（请到附近的郵便局购买）
- 9) 经济情况说明材料（奖学金证明书，银行通帐拷贝，経費支弁書，在职证明书，收入证明书等）
※ 填写经济情况说明材料之前请到事务室咨询。
- 10) 护照
- 11) 照片（4cmx3cm、需要三个月以内所拍的照片）在留卡粘贴用



21. 关于在留卡

有义务随身携带在留卡。警察要求提示在留卡时，有义务提示。不随身携带会被罚款。

○丢失在留卡时

- 1) 到最近警察署挂失。
- 2) 办理在留卡的补发手续。(发现丢失后，在 14 天以内)

<< 需要的资料>>

- 1) 在留卡补发申请书(国际课备有申请书)
- 2) 照片(4cm×3cm、需要三个月以内所拍的照片)
- 3) 能够证明丢失的有关资料(遗失证明书、挂失证明书)
- 4) 护照

○提交处 国际课(常三岛，藏本)



22. 临时回国

临时回国或离开日本出国的情况下，请务必到国际课(常三岛 藏本)递交出国旅行申请表。在国际课(常三岛 藏本)放有申请表。同时还要向各学部教务 学务系递交「海外渡航届」。在各学部教务 学务系放有申请表。

出国后、如果在 1 年以内返回日本，则不需要取得再入国许可。(这个制度称为「みなし再入国許可」。)但，出入境时请务必携带护照和在留卡。

利用这个制度临时回国时，出境时要在再入国记录表中标明。不需要付手续费。

出国后、如果有在 1 年以上不能返回日本的情况，需要办理再入国许可。

再入国许可申请表、在国际课(常三岛・藏本)备有。

请注意、如果没有再入国许可，是不允许入境的。

23. 关于打工(资格外活动)

持有“留学”在留资格的外国人，是不允许“就劳”的，所以需要打工时，必须提出资格外活动许可的申请。没有提出资格外活动许可申请情况下打工，将成为处罚的对象。另外，被确认为专门从事打工的情况时，将成为强制遣送回国等处罚的对象。在从事打工活动之前，请准备好所需书类，到所属学部的学务系办理相关的手续。**休学期间不允许打工。**

(1) 所需材料

- 资格外活动许可申请表(请到国际课领取)
- 在留卡原件
- 护照

(2) 打工时间的限制

① 一周不能超过 28 小时

② 不论周几算起都不能超过 28 小时

(例: 不论 4/1 (月) ~ 4/7 (日), 还是 4/2 (火) ~ 4/8 (月) 算起都不能超过 28 小时)

过去有过因为打工超过每周 28 小时, 签证更新时被拒签的事情。

③ 学校规定的长期休假, 一天可打工至 8 小时

※注意 4 月 ~ 5 月的黄金周不属于长期休假。

(3) 请不要到风俗营业或风俗关连营业场所打工。比如スナック、バー、クラブ、キャバレー、パチンコ店、麻雀店、ゲームセンター。

(4) 关于处罚

- 没有资格外活动许可的情况下打工
- 被认为专门打工
- 一周打工超过 28 小时
- 在风俗营业或风俗关连营业场所 (上述 (3)) 打工。→ 有可能被强行驱逐或承担法律责任。

(5) 注意事项

● 打工前

事先跟雇主谈好各项事宜。签约之前弄清就业规则。

★ 由于日语问题弄不清楚时, 请跟会日语的同学或到国际课商谈。

● 终止打工

请提前一个月通知雇主, 最好直接跟雇主商谈, 不要只通过电话通知对方。

★ 过去有过只打电话, 发生了纠纷事情的先例。

提出资格外活动的许可时所需书类如下所示。

- 1) 资格外活动许可申请书 (在国际课 (常三岛・藏本)) 备有)
- 2) 在留卡原本
- 3) 护照

※ 请大家打工时遵守规则。

本校每月代办两次签证的申请。请大家提前准备好各种有关材料。

如遇到签证期限来不及等到学校代办时, 请自行到入国管理局办理延长手续。



24. 有关入国管理局的申报手续

以下情况必须在 14 天之内必须向入国管理局申报「活動機関に関する届出」的手续。

若不按时提出申报的话、下一次的签证更新时有被拒签的可能性。

但毕业, 修了, 退学后马上回国, 办理出境手续时退还在留卡的话, 可不申报。

1) 申报时所需资料

- ① 毕业, 修了, 退学, 开除学籍: 资料 1 之 2
- ② 转学到日本其他学校: 资料 1 之 2, 资料 1 之 3



③ 从日本其他学校转学到本校： 资料 1 之 2， 资料 1 之 3

资料可在以下网址下载。

URL : http://www.isc.tokushima-u.ac.jp/documents_list/

2) 提交方法

① 直接交到入国管理局

需持申报表和在留卡。

② 邮递

地址 〒160-0004 東京都新宿区四谷一丁目 6 番 1 号四谷タワー 1 4 階 東京出入国在留管理局
在留管理情報部門受付担当

※封面用红笔写上「届出書在中」

※需要在留卡的双面复印

③ 网上办理

入国管理局的网址为：

<https://www.ens-immi.moj.go.jp/NA01/NAA01S/NAA01STransfer> (日本語)

<https://www.ens-immi.moj.go.jp/NA01/NAA01S/NAA01SEventAction?hdnGng=L2> (英語)

VII 日常生活 (2)

25. 日本国内住所变更时需要办理的手续

1) 同一市内或町内时，在 14 天之内，持护照，在留卡，国民健康保险证到所在市役所或办事处（役场）办理【転居届】手续。

2) 搬到市外或町外时

① 在 14 天之内，持护照，在留卡到所在市役所或办事处（役场）办理【転出届】手续（提前一个月可办理）。可得到【転出证明书】

② 国民健康保险的解约

持护照，在留卡，国民健康保险证到所在市役所或办事处（役场）办理

③ 【転入届】手续（新住所的登录）

持护照，在留卡，到新的所在市役所或办事处（役场）办理【転居届】手续。

④ 加入国民健康保险

持护照，在留卡，到新的所在市役所或办事处（役场）办理

3) 其他

① 到所属学部的事务和国际课办理新地址的登记。

② 最迟提前一个月向住房的管理人员通知搬家日期，并及时交付房租。请事先确认合同书的内容。

③ 通知电业，煤气，水道等公司，并交付所需费用。

④ 到邮局办理地址变更手续。



⑤ 持手机者必须同签约公司办理住址变更手续，回国时请解约并支付费用。

⑥ 转让自行车时，一定要办理消除防犯登录的手续。

⑦ 入国管理局办理的申报手续

只限于，毕业，修了，退学或转学到其他大学。（请参考 22）

26. 留学生和附近居民等的交流会等

有时会举办与附近居民的联谊交流、文化体验交流会等。举办时会在国际课（常三岛 藏本）或在国际中心网页上登载告知。望积极参加联谊活动、并加深与附近居民交流和互动。

27. 关于宗教等

有人到学生宿舍或公寓布教时，尽量不要迎合。也不要告诉你的电话号码等个人情报。若有纠缠不休的情况时请到各学部的学务係或国际课商谈。

※即使没有布教，对校外以及不熟悉人不要轻易把自己的电话号码等个人信息。



VIII 回国前的手续

28. 回国前的手续

毕业・学习结束等返回祖国之前，要做好以下事情。

① 与各学部教务担当和国际课联络告知何时回国。

② **最迟提前一个月**与宿舍的管理员和公寓的房东联络通知回国日，并支付房租。

住在学校宿舍的同学，提前一个月把[退居届]提交到国际课（常三岛，藏本）

③ 与电，煤气，自来水的公司联系，支付费用。

④ 持手机者必须同签约公司解约后并支付费用。

⑤ 向市政府或向区乡提交搬迁通知。（请参考 25）

⑥ 国民健康保险的解约。（请参考 25）

⑦ 如果转让自行车给朋友，消除防犯登录。

⑧ 向入国管理局申报「活動機関に関する届出」（请参考 24）

但毕业，修了，退学后马上回国，办理出境手续时退还在留卡的话，可不申报。

⑨ 办理出境手续时退还在留卡。

注意：离开学校时，即使还有[留学]签证也不允许在日本留在日本。就职时一定更改签证。



IX 总结

29. 国际办公室及国际课

如果有困难活不清楚的事情时首先跟指导老师商量。

另外，国际课留学生支援系也负责留学生相关的所有事务，每年将举行数次留学生活动。请积极参加，体验日本的文化。

留学生在生活中，有什么希望和意见，请到国际课留学生支援系（藏本地区在藏本支援中心2楼留学生支援室）。

我们期待您的到来。

国际办公室

	電話番号	E-mail
教授 金 成海	TEL. 088-656-7543 (内線 82-7543)	kin@tokushima-u.ac.jp
准教授 坂田 浩	TEL.088-656-7199 (内線 82-7199)	kobayashi@tokushima-u.ac.jp
講師 Tran Hoang Nam	TEL.088-633-9109 (内線 83-9109)	tran@tokushima-u.ac.jp

国际课

	電話番号	E-mail
国際課留学生支援係	TEL. 088-656-7079 (内線 82-7079)	ryugakuk@tokushima-u.ac.jp
国際課国際企画係	TEL. 088-656-7491 (内線 82-7202)	kokukikakuk@tokushima-u.ac.jp
国際課蔵本分室	TEL. 088-633-7398 (内線 83-7398)	—
国際交流会館（北島）	TEL. 088-698-1244	—



常三島地区；国际办公室・国际课



藏本地区；国际课藏本分室



English Contents

I . Campus Life- -P43～P44

- 1 . Exemption of Tuition Fees**
- 2 . Scholarships (For Self-funded International Students)**
- 3 . Repeating Years**
- 4 . Taking a Leave of Absence from the University**

II . Life in Japan (1)- -P44～P53

- 5 . To-Do After You Arrive In Japan**
- 6 . National Health Insurance (NHI)**
- 7 . Driver's License**
- 8 . National Pension Plan**
- 9 . Legal Compliance**
- 1 0 . Social Security and Tax Number system (My Number System)**

III. Housing and Dormitory- -P54～P55

- 1 1 . Renting an Apartment**
- 1 2 . Comprehensive Renters Insurance for Foreign Students Studying in Japan**
- 1 3 . Tokushima University's International House**

IV. Periodical Health Checkup and Health Service and Counseling Center- -P55～P56

1 4. Periodical Physical Checkups

1 5. Health service, counseling and accessibility center

V. Certificates and Other On-campus Services- -P56～P57

1 6. Issuance of Official Certificates

1 7. Update of Personal Information

1 8. Arrival Allowance

1 9. Loan System

VI. Visas- -P57～P61

2 0. Extension of Period of Stay

2 1. Residence Card

2 2. Temporary Return to Home Country

2 3. Part-time Work (Activity Other than that Permitted under the Status of Residence)

2 4. Notifications to Immigration Office

VII. Life in Japan(2)- -P61～P63

2 5. When you move from your current apartment

2 6. International Exchange and Amicable Meetings with Local Residents

2 7. Religious Solicitation

VIII. What to Do Before Leaving the University- -P63-P64

2 8 . Things to Do Before Leaving the University

IX. Afterword- -P64～P65

2 9 . International Office and International Affairs Division

I . Campus Life

1. Exemption of Tuition Fees

Regular international students are eligible to apply for partial or complete exemption of tuition fees, in the case that they are in financial difficulty and recognized to excel in their studies after matriculation. For more detailed information and applications, please consult the following offices:



Campus	Office
Kuramoto	Section of Academic Affairs (<i>Kyomu Gakumu-kakari</i>) of the applicants' faculty
Josanjima	Student Support Division (<i>Gakusei Shien-ka</i>)

All application documents must be submitted before the designated application deadline.

(The expected application deadline is the middle of March for the first term and the middle of September for the second term.)

Note: Exemption of tuition fee is not applicable for students sent by a foreign government, research students, auditors for specific subjects and exchange students.

2. Scholarships (For Self-funded International Students)

When private scholarships for international students are available, notices will be put up on the information bulletin board of each faculty and on the official website of the International Office (<https://www.isc.tokushima-u.ac.jp>). Please prepare necessary documents to apply for a scholarship.

* You can also check what scholarships TU international students received recently. Please refer to the attached list of the scholarship for more information.

3. Repeating Years

International students (especially, in an undergraduate program) who have repeated a year twice (or more) will not be permitted their extension of stay. In this case, the international students have to return to their home country before the expiration of visa period.

4. Taking a Leave of Absence from the University

If an international student takes a leave of absence from the University for more than three months, he/she will have to return to his/her home country unless there is a justifiable reason to stay in Japan (e.g. illness).

*International students' visa (student visa) has been granted on the premise that the student has

sufficient funds to meet all financial needs for the entire period of study. Thus, **"a financial reason" will not be regarded as a justifiable reason.** The student visa may be cancelled if international students do not perform their activities as a student for a continuous period of more than three months without any justifiable reason. Also, during the leave of absence, activities outside the visa status such as **doing part-time job are not allowed.**



II. Life in Japan (1)

5. To-Do After You Arrive In Japan

1) Moving-in Notification: You need to submit a moving-in notification within 14 days after you have arrived in Japan.

- Place to Submit the Notification: City/Town Hall of your new residence
- Necessary ID : Residence Card and Passport

If your Residence Card has not been issued yet, please show your passport only.

2) Signing up for the National Health Insurance of Japan:

Please refer to 6. National Health Insurance (NHI)

3) Opening Bank Account: Only for those who wish to own a bank account in Japan

Necessary ID to open a bank account

- Japan Post Bank: Passport, Residence Card and Student ID Card
- Other ordinary banks: Passport, Residence Card and *Inkan* (Personal Seal)



*Those who have moved to Tokushima from another area of Japan

1) Moving-in Notification: You need to submit a notification within 14 days after you have finished moving in.

- Place to Submit the Notification: City/Town Hall of your new residence
- Necessary document and ID for Moving-in Notification : Moving-out Notification issued by the City/Town Hall where you resided before moving-in, Passport

2) Enrollment in NHI: The NHI card issued in a previous residence may no longer be used. Please enroll in the NHI at City/Town Hall of your new residence.

3) Notification to Immigration Office: You need to submit the “NOTIFICATION OF THE ACCEPTING ORGANIZATION” within 14 days after you have entered the university.

For more details, please refer to 24. Notifications to Immigration Office.

6. National Health Insurance (NHI)

International students who plan to stay in Japan for 3 months or longer are obligated to sign up for the National Health Insurance (NHI). Please ensure you enroll in the NHI and pay the premiums.

1) Place to Apply for NHI: City/Town Hall of your new residence

2) Necessary ID: Passport and Residence Card

National Health Insurance covers 70% of the incurred medical expense in case of injury or illness.

7. Driver's License

Please be careful NOT to drive if you have drunken alcohol, even a single glass of beer.

If you are punished for drunken driving, your fellow passengers and your friend who provided a car for you will also be punished by law.



Penal Regulations for Drunken Driving

In case the driver was arrested for drunken driving	Driver	Imprisonment with work for not more than 5 years or a fine of not more than one million yen
	Provider of the vehicle	
	Fellow Passenger	Imprisonment with work for not more than 3 years or a fine of not more than 500,000 yen

Please note that traffic regulations in Japan are very strict. If you violate them, you will be punished by law.

If you cause a serious traffic accident, you will also be punished by the University.

Please learn traffic regulations in Japan and be sure to follow them.

1. Cars and Motorcycles

a) Driver's License

You must have an international driving permit or Japanese driver's license in order to drive a car or a motorcycle in Japan.

[How to Obtain Driver's License in Japan]

I) Enter a Driving School and Take a Test for the License

You need to pay about 250,000 yen or 350,000 yen for the school. High level of Japanese skills are required. Instead of taking the test in Japanese, you can choose to take the test in English or Chinese.

II) Switch a Foreign Driver's License to a Japanese one

Please bring necessary documents to the Driver's License Center in *Matsushige*.

Please also note the following conditions to switch your license:



1. The applicant must be able to prove that he/she stayed in the country where the license issued for at least three months in total after obtaining the license.
2. The applicant's license must be valid (expired license cannot be switched).
3. The applicants have to pass some tests such as traffic rule knowledge test and driving skill test.

For further information, please contact Tokushima Driver's License Center in *Matsuchige* (TEL: 088-699-0110).

III) International Driving Permit

1. In case you have an International Driving Permit issued by the contracting countries of the Convention at Geneva, the permit is valid for one year in Japan.

* It also must be noted that the international driving permit may not be valid in Japan depending on the country where the permit was issued. For example, the international driving permit issued in Mongolia is not valid in Japan.

2. The Permit is effective only if you have stayed in the country where the permit issued for more than three months.

(NOTE)

If you stay in Japan for more than one year, please obtain Japanese Driver's License either by going to the driving school or switching your license to Japanese one.

*Driving without a permit or license will result in severe punishment. If you cause an accident without an officially valid permit or license, there will be more serious consequences. Please make sure NOT to drive without a permit or license.

b) Insurance

Students should have a voluntary insurance in case of unexpected traffic accidents.

*There are two types of insurance in Japan, Compulsory Automobile Liability Insurance and voluntary insurance.

○Compulsory Automobile Liability Insurance

This insurance is compulsory for all people who own and drive a car or a motorcycle in Japan.

[Basic Coverage of the Compulsory Automobile Liability Insurance]

You may use this insurance in case you killed or injured a person in the accident you caused.



The following cases cannot be covered by the Compulsory Automobile Liability Insurance:

- ✓ Driver's own injuries
- ✓ Damage of your vehicle
- ✓ Self-inflicted accident (ex. In case you bumped into an electric pole and were injured.) Damage to the property of others (ex. Damage you caused on an electric pole)

*** Excessive damage shall be covered by the person who caused the accident.**

○ Voluntary insurance (not compulsory)

Voluntary insurance is to supplement the Compulsory Automobile Liability Insurance. This insurance covers any damage caused by the insured person to another person's property or the insured person's own property (e.g. car or motorcycle) as well as the injury or death of other person(s) caused by the insured person. The payout in the event of an accident is high compared to the Automobile Liability Insurance.

***In the event of an accident, you may need to pay more than you expect. In case the damage exceeds the limit of coverage of your Automobile Liability Insurance at most 30 million yen for fatal case, you need to cover the excess on your own. Please be sure to purchase a voluntary insurance.**

c) Traffic Accident (If you caused an accident...)

Please follow the procedure below when you caused a traffic accident:

1. Assist the person you hit. If you need an ambulance, call 119.
2. Move your car/automobile/bicycle to an open space.
3. Call 110 and ask help for the nearest police.
4. Call your voluntary insurance company and ask them to help you. In case you need to negotiate with the person(s) you gave damage, please ask your insurance company to contact them.
5. Be sure to take notes of the person, his/her address and the number of the car.
6. Contact the university (your supervisor, the section of academic affairs of your Faculty/Graduate School and International Office).



*** If you do not have a voluntary insurance, you need to do all the negotiations by yourself. Please be sure to purchase a voluntary insurance for an emergent case.**

d) Tax

Owner of a car or a motorcycle must pay tax once a year.

【Types of tax】

Motor Vehicle Tax

Automobile (excluding motorcycles or light vehicles) owners must pay this tax.

Light Vehicle Tax

Motorcycle or light vehicle owners must pay this tax.

【How to pay tax】

Car or motorcycle owners will receive a tax notice every year on April 1.

This tax can be paid at banks, post offices or convenience stores.

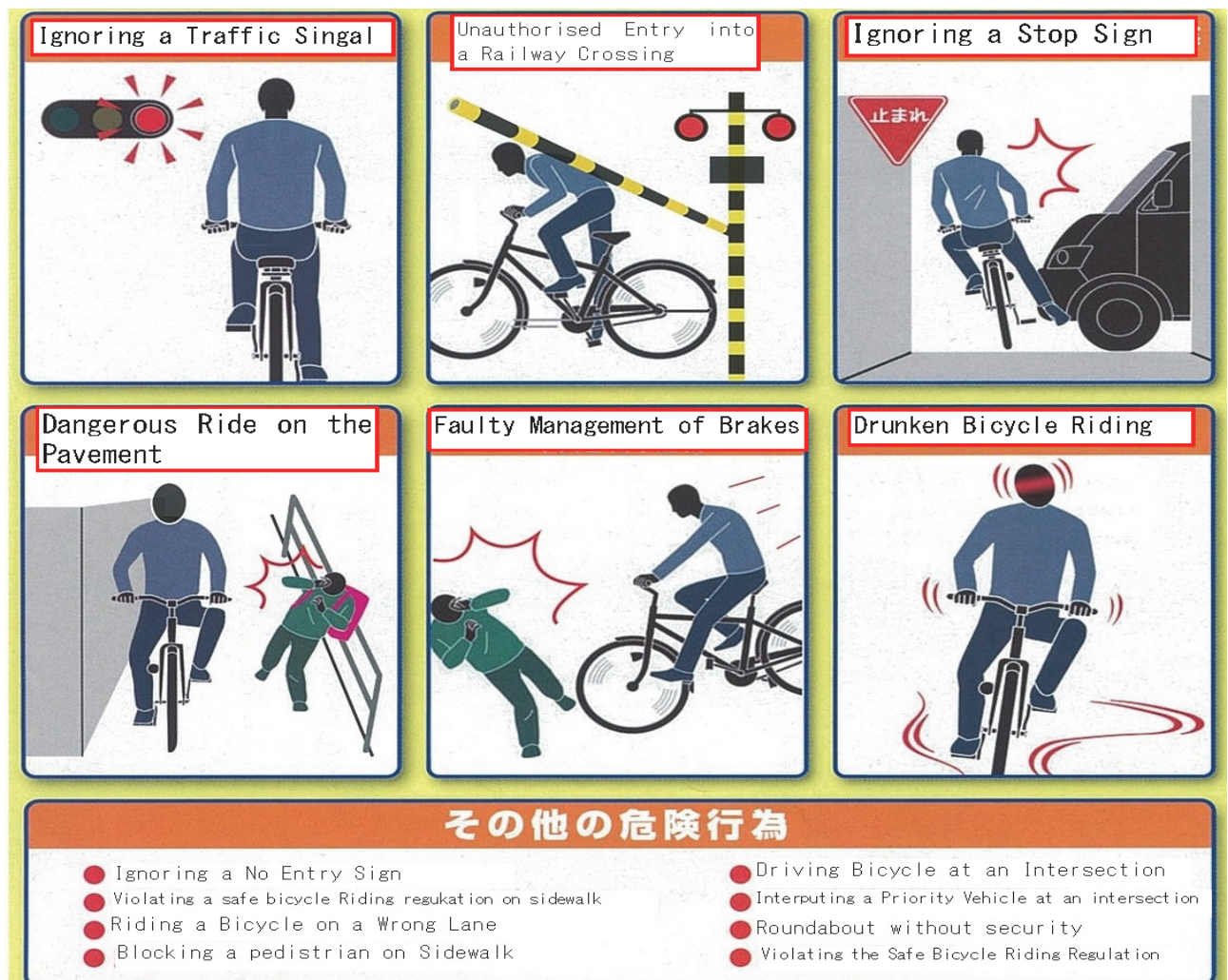
e) Use of Seat-belt and Helmet

You must wear a seat- belt when driving a car. This applies not only to the driver but to other fellow passengers in the car. Wearing a seatbelt is compulsory for all passengers in the passenger seat and rear seats. Wearing a helmet is compulsory when riding a motorcycle.

2. Bicycles

a) Traffic Rules

A bicycle is categorized as a light vehicle in Japan. Please do not conduct following dangerous acts while you are riding a bicycle.



If you have been caught by the police due to the above dangerous acts, you need to take a special lecture on safe bicycle riding and pay fine for it.

Special lecture on safe bicycle riding

▪ Lecture Fee ; 6,000 JPY

If you do not take the lecture, you will be fined 50,000 JPY.

In addition, there are many penal rules for riding bicycles. If violation is found, the violator is due to pay a fine or get imprisonment. Be careful not to ride a bicycle dangerously.

Common violations and penalties

Drunken riding	Up to 5 years of imprisonment, or a fine up to 1 million yen
Using a mobile phone while riding	A fine up to 50,000 yen
Listening to music with earphones or headphones while riding	
Holding an opened umbrella while riding	
No-light riding in the dark	
Two people riding on a bicycle	A fine up to 20,000 yen
Riding side by side with other two or more	

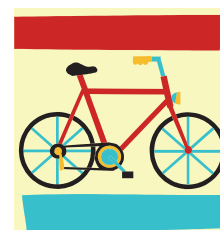
Bicycles must be parked in the designated parking areas. It is not allowed to park a bicycle in the area around Tokushima Station. In case of parking violation, your bicycle will be removed by the authority. For taking back your bicycle you have to go to the bicycle depot located in Bandai-cho and pay a fine of 1500 JPY.

b) About Insurance for Bicycle Accidents

Recently, we have several accident cases that international students have caused while they are riding their bicycles.

You may damage a car with your bicycle. If you were found responsible for such an accident, you have to pay compensation for repairing the car.

We strongly advise you to purchase an insurance for bicycle accidents.



◆ In the case you cause physical damage to a person or to a vehicle

✦ Liability Insurance for Students

- **This insurance covers liability for any damages (ex. while on the way to your part-time job).**
- **Place to apply: University COOP**
- **Insurance Fee: 1,800 JPY for a one-year contract**
 - If you are renting an apartment from a private housing agent and have enrolled in a comprehensive housing insurance, it may cover liability for damages you caused. If you want to

know more in detail, please consult the International Affairs Division.

- **In the past, there was an incident that a TU international student injured a person while riding a bicycle. Since the student did not have an insurance for bicycle accidents, he/she had to cover the damages by him/herself. We strongly advise you to purchase insurance for bicycle accidents.**

In the case that a female high school student riding a bicycle collided with a passenger on a street, the student was sentenced to pay 60 million yen for the severe damage she caused.

If you are going to use a bicycle as a means of your transportation, please be sure to buy this insurance.

◆ In case you are injured

✦ **Personal Accident Insurance for Students Pursuing Education and Research (PAS) and Liability Insurance coupled with PAS**

- This insurance covers any injury occurred inside the university during class, research, and club activities etc.
- The insurance covers any damages caused while on the way to and from the university.
- All matriculated full-time undergrad/graduate students have this insurance at the time of entrance.
- Some of the non-regular students (research students, special exchange students, special research students, auditors etc.), depends on the faculty, may have already enrolled in this insurance. For the non-regular students who are still not enrolled yet, it is recommended to enroll in this insurance.
- Place to apply: Student support section (Please bring your student ID card)
- Insurance fee: 1,000 JPY per year



✦ **Student Comprehensive Mutual Insurance “Mutual Life Insurance”**

- This life insurance covers any injury and sickness.
- Place to apply: University COOP
- Insurance Fee: 14,400 JPY for one year
- **If you are studying in the university as a non-matriculated student (as a research student, a special exchange student, a special research student or as an auditor), you do not likely enroll in PAS. We strongly advise you to purchase insurance.**

c) Bicycle Registration

When you own a bicycle, you must complete bicycle registration at the nearest police station and put a registration sticker on your bicycle. If you ride a bicycle without this sticker, you may be stopped by the police and suspected as a possible bicycle theft.

If you buy a bicycle at a bicycle shop, the shop may carry out the registration procedure for the bicycle. Please ask at the shop when you buy.

d) Transferring ownership of a bicycle over to a friend

Please do NOT forget to cancel the bicycle registration before handing a bicycle over to a friend.

e) Traffic Accident (If you caused an accident or you are involved in an accident...)

Please follow the procedure below:

1. Assist the person you injured. If you need an ambulance, call 119.
2. Move your car/automobile/bicycle to a secure open space.
3. Call 110 and ask help for the nearest police. Call 110 to the police, if you need an assistance.
4. Call your voluntary insurance company and ask them to help you.

In case you need to negotiate with the person(s) you gave damage, please ask your insurance company to contact them.

5. Be sure to take notes of the person, his/her address and the number of the car.
6. Contact the university (your supervisor, the section of academic affairs of your Faculty/Graduate School and the International Affairs Division)

***If you do not have a bicycle insurance, you need to do all the negotiations by yourself.**

We strongly advise you to purchase a bicycle insurance.

8. National Pension Plan

All the residents in Japan aged between 20 and 59 are required to join the National Pension Plan. International students are no exception.

Students who have difficulty in paying their pension premiums can apply for “*Special Payment System for Students*” to extend the national pension premiums.

Please apply at the city/ town hall.

If you intend to work in Japan in the future, we strongly advise you to apply for this system.

Otherwise you may not be able to receive pension even if you reached the age to receive it.

For more information, contact:

Tokushima City Hall: 088-621-5161 or 088-621-5162

Kitajima Town Hall: 088-698-9801



【Pension Types】

1. Basic Pension for the Elderly: Pension to persons of age 65 and over who have enrolled in the plan and have paid the premium for the period required to qualify as a recipient
2. Basic Disability Pension: Pension to persons who have become disabled during the enrollment period
3. Basic Pension for the Bereaved: Pension to an insured person's child(ren) or spouse taking care of a child(ren) after the insured person is dead

9. Legal Compliance

The following acts can be regarded illegal in Japan, even if the same acts are regarded legal in your home country.

1. Carrying discarded items back to your home

If you take valuable items like TV set, bicycle and electric appliances, discarded at a disposal area back to your home, you can be arrested on a charge of embezzlement.



2. Illegal Dumping

If you put out the trash in the undesignated area, you can be imposed a penalty fee because of the violation of law.

3. Lending Your Bank Account

Please do not lend your bank account to others even if your friends ask. If your bank number is misused for an illegal business behind you, you can be treated disadvantageously. (ex.: not to be permitted to extend your VISA.)



4. Business

You must not do any kind of business such as selling Japanese goods to your country or selling items by auction. Those acts are illegal.

5. Illegal Drugs (Stimulated drug, marijuana, MDMA, MDA, cocaine, heroin, paint thinner, and other dangerous drugs)

In Japan, selling/buying/receiving drugs and even possessing them are illegal. If you violate the regulation, you will be punished with imprisonment or imposed fine.

★Dangerous Drugs

In Japan, many cases are reported that the dangerous drugs are sold online as “a legal herb,” “an incense” or “an aromatic perfume”. Those items contain the same or similar substances of the stimulant drugs and marijuana. They are very dangerous and illegal.

*If you are not sure about the item you are going to order, please do not purchase it.

*Say NO if your friends recommend you to try drugs.

*Do not carry unknown person’s luggage when you are going back to your home country. You may be utilized as a drug career.

Ex. Examples of Illegal Drugs



10. Social Security and Tax Number system (My Number System)

The social Security and Tax Number, so-called “My Number”, is given to individual resident in Japan and you may be asked to show your My-Number card when you work as a part-timer. Please be sure NOT to lose the card.



For further information about My-Number System, please refer to the following URL.

<https://www.cao.go.jp/bangouseido/>

Explanations in multiple languages are available here.

<https://www.cao.go.jp/bangouseido/foreigners/>

III. Housing and Dormitory

11. Renting an Apartment

In case you are going to rent an apartment from a real estate agent, not from the university COOP, please consult the International Affairs Division in advance.

12. Comprehensive Renters Insurance for Foreign Students Studying in Japan

All international students at Tokushima University who intend to rent private accommodation are obligated to purchase Comprehensive Renters Insurance for Foreign Students Studying in Japan provided by the Japan Education Exchange Services (JESS) .



The annual fee for the insurance is 4,000 JPY (one-year insurance fee, 2,500 JPY and one-year membership fee, 1,500 JPY), and two-year insurance fee is 8,000 JPY (two-year insurance fee, 5,000 JPY and two-year membership fee, 3,000 JPY). The TU Supporters Association will subsidize the students with the annual membership fee after completion of all the necessary application procedures (1,500 JPY or 3,000 JPY).

To purchase the insurance, please contact the International Affairs Division on *Josanjima* Campus or its branch office on *Kuramoto* Campus.

*University Guarantor System for International Students

Tokushima University (Director of the Research Center for Higher Education) will act as an international students' guarantor if they have difficulty in finding a guarantor to rent an apartment. International students wishing to apply for this guarantor system must meet the following requirements:

1. The applicant must be enrolled at Tokushima University.
2. The visa status of the applicant must be "Student".
3. The applicant must have the "Comprehensive Renters' Insurance for Foreign Students Studying in Japan" provided by JEES.

For more information, please consult at the following offices:

Campus	Office
Kuramoto	International Affairs Division (Kokusai-ka)
Josanjima	International Affairs Division (<i>Kokusai-ka</i>)

If you rent an apartment using the University Guarantor System for International Students and you are no longer a student at Tokushima University (because you are already graduated etc.), you must immediately move out of the apartment, or immediately change your rental contract.

13. Tokushima University's International House

Tokushima University's International Houses in *Kitajima-cho*, *Itano-gun*, and *Nichia-Kaikan* International House in *Shinkura-cho*, Tokushima City, and *Kuramoto Dormitory* in *Kuramoto-cho*, Tokushima City have been established to provide international students with accommodations and facilities for international exchange. International House in *Kitajima-cho* has a four-story building with 32 rooms for single students and a three-story building with 18 suites for married students and their families. Both buildings are reinforced concrete structures. As for public facilities, there are multi-purpose halls, lavatories, shower rooms, etc. The monthly rent for a single room is 5,900 yen (plus 1,000 yen for shower); a couples' suite, 9,500 yen; and a family suite, 14,200 yen.

Nichia-Kaikan International House in *Shinkura-cho* has 30 single rooms for female international students and researchers. Each room is equipped with a kitchenette, a single bed, a prefabricated bath system with a bathtub and a lavatory. The monthly rent for each room is 11,000 yen.

Kuramoto Dormitory in *Kuramoto-cho*, Tokushima City has 19 single rooms. The monthly rent for a single room is 28,000 yen.

Students who want to move into the above International Houses should contact the following offices:

Campus	Office
<i>Kuramoto</i>	International Affairs Division or Section of Academic Affairs (<i>Kyomu-kakari</i> or <i>Gakumu-kakari</i>) of the applicant's faculty
<i>Josanjima</i>	International Affairs Division (<i>Kokusai-ka</i>)



IV. Periodical Health Checkup and Health Service and Counseling Center

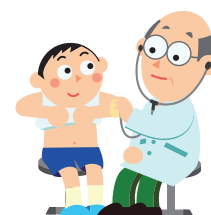
14. Periodical Physical Checkups

All students are required by law to undergo periodical physical checkups. Blood-checkups, urine tests, chest X-rays and other tests are conducted at the university every year in April and October. These checkups are free of charge.

*Students who do not undergo checkups at the university are required to take them at a hospital at their own expense.

*Some private-funded scholarships require applicants to submit their health certificate issued after Health Checkup.

*You may be required to submit your health certificate when you do job hunting.



15. Health service, counseling and accessibility center

The Health service, counseling and accessibility center is a welfare facility which provides students with free first-aid and consulting services. Consultation for treatment is provided for health problems such as illness, injury, and other concerns about student life including harassment.

The center is located on the first floor of Liberal Arts and Sciences Building No.5 on *Josanjima* campus. The branch center is located on the second floor of *Kuramoto Kaikan*.



V. Certificates and Other On-campus Services

16. Issuance of Official Certificates

Please contact the academic Affairs Section of your faculty when you need official certificates (e.g. transcript).



17. Update of Personal Information

Personal Records Sheet must be submitted to the International Affairs Division. Any changes to the content of the Personal Records (e.g. address, contact numbers, etc.) also must be notified to the International Affairs Division.

18. Arrival Allowance

New international students can receive an arrival allowance of 20,000 yen. This arrival allowance is provided by the TU Supporters Association.

*Students who correspond to the following conditions are not eligible to receive

Arrival Allowance

- Students whose intended period of enrollment in Tokushima University is less than 6 months
- Students who are on Japanese Government Scholarship or foreign government-sponsored scholarships
- Students who are receiving or scheduled to receive a scholarship
- Students who are scheduled to receive financial support equivalent to a scholarship
- Students who have transferred into Tokushima University from other institutions in Japan such as universities, technical colleges and Japanese language schools
- Students who have formerly been enrolled in Tokushima University
- Students who have a spouse or family members residing in Tokushima



*Application forms are available at the International Affairs Division offices in *Josanjima* and *Kuramoto*.

19. Loan System

Council for the Promotion of Intercultural Exchange with Tokushima's International Students provides below listed loan systems for students who are in need of temporary funds.

	Amount of Loan	Method of Repayment
Loan	Maximum of 100,000 yen	Repay either in a lump-sum or by installments within six months.

*Application form is available at the International Affairs Division offices in *Josanjima* and *Kuramoto*.

VI. Visas

20. Extension of Period of Stay

Students who plan to stay longer than the permitted period must apply for extension of the period of stay. Application for visa extension is accepted from three months prior to the current visa's expiration date.

The applicant is required to stay in Japan when they apply for VISA extension.

Please prepare the required documents and submit them to the office below:



Campus	Office
<i>Kuramoto</i>	International Affairs Division (<i>Kuramoto-Kaikan</i>) Third Thursday Only
<i>Josanjima</i>	International Affairs Division (<i>Kokusai-ka</i>) Every Thursday (Except the third Thursday)

If you have any questions concerning your visa, you can consult with administrative scriveners who specialize visa procedures on the above dates.

The following documents are required:

1. Application for Extension of Period of Stay

* To receive this application form, please access the offices above.

2. Residence Card
3. Transcript (Only necessary for regular students)
4. Student Registration Certificate

5. Certificate of Research Content (Only necessary for research students) The certificate is issued at the section of Academic Affairs.
6. Request of Delivery for Organization (Application form is available at the International Affairs Division (on *Kuramoto* and *Josanjima* Campuses) and Confirmation sheet of registration of your classes
7. Certificate for Payment of Fee (The form is available at the International Affairs Division on *Kuramoto* and *Josanjima* Campuses.)
8. Fee for extension of period of stay (4,000 JPY)
9. Proof documents of financial background (ex: Certificate of scholarships, photocopy of bank book, financial support statement, certificate of employment, and income certificate, etc.)
*For more detailed information about the proof of financial background, please consult the above offices by at least 3 months before the visa expires.
10. Passport
11. A face photo for residence card (4×3cm, taken within the past 3 months)

21. Residence Card

You have to carry your Residence Card with you all the time while you are staying in Japan.

You must show your Residence Card if a police officer ask you to do it.

If you have not carried your card with you or have not shown your card to the police officer, you may be fined.

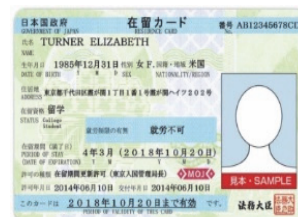
* If you have lost your residence card...

- (1) Report the loss to the nearby police.
- (2) Apply for the reissuance of your card within 14 days.

Please submit the following documents to the International Affairs Division on *Josanjima* or *Kuramoto* Campus.

Documents you need to submit:

- (1) Application form for reissuance (available at the International Affairs Division on *Josanjima* or *Kuramoto* Campus)
- (2) A face photo (4×3cm, taken within the past 3 months)
- (3) Official certificate for the loss of your Residence Card (certificate of loss/ thief report)
- (4) Passport



22. Temporary Return to Home Country

Students who leave Japan temporarily for the purpose of returning to their home country or traveling abroad must submit “Notification of Trip abroad” to the International Affairs Division on *Josanjima* or *Kuramoto* Campus. In addition, please submit “Temporary Leave Notification for Traveling Abroad” to your faculty’s administration office. The each form is available at the International Affairs Division (*Josanjima*/ *Kuramoto*) and faculty’s academic affairs administration office.

- Re-entry permit from Immigration Office is not necessary for those who reenter Japan within one year after departure. (This is called a special re-entry permit.) Please also make sure to carry your residence card and passport when you leave/enter Japan.
- If your period of stay in Japan expires within 1 year after your departure, please ensure that you need to re-enter Japan before the expiration of your period of stay.
- International students are required to obtain a re-entry permit if they are not reentering Japan within one year. If you have stayed outside Japan more than one year without this permit, you cannot re-enter Japan and have to apply for your student visa again. The application form is available at the International Affairs Division (*Josanjima* and *Kuramoto*).

23. Part-time Work (Activity Other than that Permitted under the Status of Residence)

Foreigners in Japan with student visa status are not permitted to work. **If they wish to engage in part-time work, they need to obtain "Permission to Engage in Activity Other than that Permitted under the Status of Residence Previously Granted" (*Shikaku-gai-katsudou*).**

Students who are on leave of absence are NOT allowed to work part-time.

(1) Required documents to apply:

- ① Application form for "Permission to Engage in Activity Other than that Permitted under the Status of Residence Previously Granted"
 - Application form is available at the International Affairs Division (*Josanjima*, *Kuramoto*).
- ② Residence Card
- ③ Passport

(2) Total number of work hours

- ① **28 hours or less per week**
- ② **Regardless of the day to start counting, total number of work hours per seven consecutive days must be less or equal to 28 hours per week.**

Example: No matter if counting from 1 April (Mon) to 7 April (Sun), or counting from 2 April (Tue) to 8 April (Mon), the total hours must be within 28 hours.



In the past, application for visa extension was rejected due to the violation against the maximum

work hours.

It is possible to work part-time up to 8 hours a day during the long vacation period **specified by the university.**

*** Note: The Golden Week period from April to May is not a long vacation period specified by the university.**

* If you do not know the long vacation period specified by the university, please contact the International Affairs Division.

2. International Students are NOT allowed to work at places for entertainment and amusement industries, such as bars, pubs, cabarets, pachinko parlors, mahjong parlors, game arcades, etc.

3. International students may be deported under the following circumstances:

- a) When an international student works without obtaining a permission to engage in activity other than that permitted under the status previously granted,
- b) When an international student is clearly found to be engaged solely in activities to earn money,
- c) When an international student works more than 28 hours per week, or
- d) When an international student works at places for entertainment and amusement industries as shown in (2) above.

4. Other Important Issues:

- a) Before you start working as a part-timer...

Please discuss work conditions with your employer before you start working part-time.

Before you sign your work contract, please read the work regulations carefully and ask your employer to issue Notice of Employment for you. If you cannot understand the contract, please consult with your Japanese friends or the International Affairs Division.

- b) Before you quit your part-time job...

Please let your employer know at least one month before you quit the job.

Please meet and discuss with your employer (or manager) and obtain their consent for quitting the job.

24. Notifications to Immigration Office

In the following cases, you are required to submit the “NOTIFICATION OF THE ACCEPTING ORGANIZATION” to the immigration office within 14 days.

Failure to submit a notification may result in penalties, or cause a rejection to renew your visa.

○In case you are going back to your home country immediately after you graduate/leave the university, you do not have to submit the notification to the immigration office. Please return your residence card to immigration control at the airport.

1) When do you have to notify to the office?

a) When you graduate/leave the university: Use Form 1-2

b) When you move/enter other university in Japan: Use Form 1-2, 1-3

c) When you move to/enter TU from other university in Japan: Use Form 1-2, 1-3

* You can download the forms from the URL below:

https://www.isc.tokushima-u.ac.jp/documents_list/

2) Submit the Applications by one of the following methods

a) Submit the forms(s) directly to the nearest Immigration Office in your residential area

b) Mail the form(s) to the Immigration Bureau

Address: *Tokyo Nyuukoku Kanrikyoku Zairyu Kanri Jouhou Bumon Uketsuke Tantou*,
Yotsuya Tower 14th floor, 1-6-1 Yotsuya, Shinjuku-ku, Tokyo 160-0004

* Write “Notifications” on the envelope in red.

* Enclose the application with the copy of your residence card.

c) Online

1. Access the official homepage of the Immigration Bureau:

<https://www.ens-immi.moj.go.jp/NA01/NAA01S/NAA01STransfer> (Japanese)

<https://www.ens-immi.moj.go.jp/NA01/NAA01S/NAA01SEventAction?hdnGng=L2> (English)

2. Click “For mid-to-long-term residents”

3. Click “Authentication ID issued” and register in the system

4. Enter your Authentication ID and password and process the application



VII. Life in Japan (2)

25. When you move from your current apartment...

1) In case you are going to move to another place within the same city/town, please submit “Notification of Moving Out” within 14 days after moving:

- Place to submit: City/Town Hall of your present residential area
- Necessary ID: Passport, Residence Card and Certificate of NHI

2) If you intend to move to somewhere outside of the city/town where you living, please complete the followings within 14 days after moving:

a) Apply for Notification of Moving-out (The application is accepted from one month before moving out.)

- Place to apply: City/Town Hall of your residential area before moving
- Necessary ID: Passport and Residence Card

○The city/town hall issues a certificate of moving-out. To complete the notification of moving in,



you need to submit the certificate at the city/town hall of your new residential area.

b) Withdrawal from NHI

- Place to apply: City/Town Hall of your residential area
- Necessary ID: Passport and Residence Card

c) Notification of Moving-in

- Place to Submit: City/Town Hall of your new residential area
- Necessary ID: Passport and Residence Card

d) Enrolling in NHI

- Place to apply: City/Town Hall of your new residential area
- Necessary ID: Passport and Residence Card

3) Other things to do

- a) Please inform the university (the International Affairs Division and Office of Academic/Student Affairs of your department) of your new address.
- b) Once the moving out day has been fixed, please let your landlord and housing agency (ex: University Coop) know the date **at least one month before your moving**. Please also make sure to pay any remaining rent before you move out. If you delayed to inform your landlord about the moving day, you may be charged the rent for another month. Please be sure to read the housing contract carefully in advance.
- c) Please contact electric, gas and water companies and pay any remaining fees before moving.
- d) Do not forget to inform the post office of your new address (Mail will be automatically forwarded to your new address).
- e) Do not forget to change your current address for your cell phone. If you return to your home country, please be sure to terminate your contract with the cell phone company before you leave Tokushima. Please also note to complete your payment for your cell phone.
- f) If you transfer your bicycle to anyone, please make sure to remove your ownership for the bicycle.
- g) Please also make sure to submit the “NOTIFICATION OF THE ACCEPTING ORGANIZATION” to Immigration Office.
 - This procedure is only for when you are going to graduate/leave the university or to move to another university. Please also refer to 24. Notifications to Immigration Office.

26. International Exchange and Amicable Meetings with Local Residents

Informal gatherings of international students and local residents are being held for cultural exchange and building amicable relations. Information about the events such as exchange meeting with local residents, cultural experience etc. will be posted at the International Office (Josanjima/Kuramoto), or on the website of the International Office. Please take part in these events actively and deepen the interaction with local residents.

27. Religious Solicitation

Religious group members sometimes visit your apartment or your dormitory room to persuade you to join. Do not offer your personal information to them.

If you are being harassed by religious group members constantly visiting your apartment, please feel free to consult the Academic Affairs Section or the International Affairs Division.

Do not share your personal information (including your cell phone number) with unknown people.



VIII. What to Do Before Leaving the University

28. Things to Do Before Leaving the University

The following are matters that international students must take care of before leaving the University upon their graduation:

1. Notify the International Affairs Division and the Academic Affairs

Section of your faculty of your intended date of departure.

2. Inform the apartment landlord or accommodation manager (ex. University Coop) of your intended moving date at least one month before you leave Tokushima and complete any remaining rent payments.

Delayed notification of your moving date may charge you the rent for another month. If you are staying in the dormitory, please submit the “Notification for moving-out” to the International Affairs Division at least one month before you move out.

3. Contact the electricity, gas and water companies and pay for any remaining fees.
4. If you have a cell phone, please be sure to terminate the contract and complete the payment before you leave Tokushima.
5. Close your bank account.
6. Submit “Notification of Moving Out” to the City/Town Hall. For details, refer to 25. 2), a) “Notification of Moving-out”.
7. Apply for the withdrawal from NHI at the City/Town Hall. For details, please refer to 25. 2), b) “Withdrawal from NHI”
8. Cancel your bicycle registration if you intend on handing over your bicycle to anyone.
9. Submit the “NOTIFICATION OF THE ACCEPTING ORGANIZATION” to Immigration Office. For details, refer to 24 “Notification of Moving-out”. If you are going to return to your home country right after you graduate/leave the university, you do not need to submit the notification.
10. Return your Residence Card at the airport.



Note: If you have left the university due to graduation or completion, you are **NOT allowed to stay in Japan with student visa status**, even if your student visa is still not expired.
You have to obtain other kind of visa if you want to continue to stay in Japan.

IX. Afterword

29. International Office and International Affairs Division

Students should consult their supervisor first if they have any problems or concerns.

International Office and International Affairs Division handle general affairs related to international students and announce several in-campus or out-campus events for international students. Please take an active part in these events to experience other cultures.

International students are welcome to contact anytime when in need of assistance.

International Office

Professors	Phone Number	E-mail
JIN, Chenghai Professor	TEL. 088-656-7543 (Ext. 82-7543)	kin@tokushima-u.ac.jp
SAKATA, Hiroshi Associate Professor	TEL.088- 656-7199 (Ext. 82- 7199)	kobayashi@tokushima-u.ac.jp
Tran Hoang Nam Lecturer	TEL.088- 633-9109 (Ext. 83- 9109)	tran@tokushima-u.ac.jp

International Affairs Division

Sections	Phone Number	E-mail
Student Support Section for International Affairs	TEL. 088-656-7079 (Ext. 82-7079)	ryugakuk@tokushima-u.ac.jp
Section of International Planning	TEL. 088-656-7491 (Ext. 82-7202)	kokukikakuk@tokushima-u.ac.jp
Kuramoto branch office	TEL. 088-633-7398 (Ext. 83-7398)	—
International House in Kitajima	TEL. 088-698-1244	—



Josanjima area ; International Office and International Affairs Division



Kuramoto area ; Kuramoto Branch Office

